

平成23年度開講予定科目の解説

芸術

芸術科では、自己と向き合い、自己を表現する姿勢を大切にしています。そして優れた作品の学習や鑑賞を通してさらに技術や感性を高め、個性豊かな表現力を伸ばしていきましょう。実技教科ですので授業に出ることが大切です。それと提出物を忘れずに出すことです。

〔音楽分野〕

音楽Ⅰ	2単位	選択必修
様々な活動を通して、基礎的な音楽の知識や表現方法を取得します。 ①歌唱（日本語・外国語の歌曲） ②器楽（キーボード、クラシックギター、和楽器など） ③鑑賞 ④ソルフェージュ（音符の種類や拍子・リズムについて） 保育士や音楽関係の仕事を目指している人は選択を勧めます。		

音楽Ⅱ	2単位	選択	音楽Ⅰを履修済みであること
音楽Ⅰで身に付いた基礎力をさらに深め、音楽を表現する楽しさや充実感を味わえるような学習をします。音楽Ⅰの内容に2部合唱、器楽アンサンブル、創作活動も加えて自己表現の幅を広げていきます。			

音楽Ⅲ	2単位	選択	音楽Ⅰ・音楽Ⅱを履修済みであること
音楽Ⅱをさらに発展させ、生涯にわたり音楽を楽しめるような基礎の定着とともに、さまざまな表現方法をより深く学習します。歌唱・器楽を中心に、独唱・独奏やアンサンブルをしたり、音楽Ⅱまでで扱えなかった創作活動、鑑賞活動も行います。			

音楽鑑賞	2単位	選択
クラシック音楽や日本の伝統音楽を中心に、さまざまな国やジャンルの音楽について、「楽曲の特徴をとらえること」や「歴史的背景の理解」などの楽曲理解のための活動を行います。多くの音楽に触れ、より深い鑑賞の力、聴く力をつけます。また、この授業では「聴く」ことが主体となるため、授業態度や出席状況を重視します。		

合唱合奏	2単位	選択
読譜の基礎を確かめながら、歌唱・器楽に取り組みます。全体アンサンブルはもちろん、個人またはグループの課題もあります。クラシック、ポップスや様々な国の音楽に触れながら、表現力やコミュニケーションの一つとして音楽やアンサンブルの楽しさを味わいましょう。		

〔美術分野〕

美術Ⅰ	2単位	選択必修
美術Ⅰでは、美術各分野の基礎から学びます。絵画分野では鉛筆の使い方から始め、デッサンを通じて油彩につなげます。デザイン分野では色彩の基礎を学びながらポスターに発展させます。そのほか彫塑や鑑賞などの活動を通して、美術の基礎的な知識や技法について学習します。この講座は実習を通して学習していく講座なので、しっかりと出席し、課題の作品を提出することが大切になります。		

美術Ⅱ	2単位	選択	美術Ⅰを履修済みであること
美術Ⅰの基礎的な学習を深め、技法や材料、用具の特性を理解し、作品意図に応じた表現方法を学んでいきます。美術Ⅱでは、美術Ⅰの内容の油彩画や、ポスターを深めていきます。この講座は実習を通して学習していく講座なので、しっかりと出席し、課題の作品を提出することが大切になります。			

美術Ⅲ	2単位	選 択	美術Ⅰ・美術Ⅱを履修済みであること
<p>美術Ⅱをさらに発展させ、技法や材料、用具の特性を追求し、作品意図に応じた表現方法を学び独自の作品制作に取り組みます。美術Ⅲでは、美術Ⅱの内容のほか立体造形や版画なども学びます。</p> <p>この講座は実習を通して学習していく講座なので、しっかりと出席し、課題の作品を提出することが大切になります。</p>			

総合美術	2単位	選 択	
<p>身の回りには美術的な世界があふれています。これらに関心をもち、様々な作品に触れ、見る喜び、作る楽しさを味わいながら表現することについて学びます。</p> <p>この講座は実習を通して学習していく講座なので、しっかりと出席し、課題の作品を提出することが大切になります。</p>			

〔書道分野〕

書道Ⅰ	2単位	選択必修	
<p>書道Ⅰでは、中学までの書写をさらに発展させ、多様な書について学びます。まずは筆の持ち方などの基本から始め、古典といわれる書の名品を手本として筆の動かし方や文字の構成法などの基本的な技術を学びます。また作品の鑑賞を通して書のさまざまな美しさに触れていきます。実習費として3,000円程度必要になります。</p>			

書道Ⅱ	2単位	選 択	書道Ⅰを履修済みであること
<p>書道Ⅰでの基本的な学習をさらに深め、さまざま古典を学習する中で幅広い表現技法を習得していきます。また、古典の臨書だけではなく創作活動にも積極的に取り組んでいきます。さらには、篆刻など作品製作も行います。実習費として3,000円程度必要になります。</p>			

書道Ⅲ	2単位	選 択	書道Ⅰ・書道Ⅱを履修済みであること
<p>書道Ⅲでは今まで学んだことをもとにさらに学習を高めていきます。主には創作活動が中心になります。大きな紙を使った作品製作や、篆刻・刻字等も積極的に取り入れていきます。また、実技だけではなく書道史などの理論的なこと学び、それを生かして毛筆検定や各種書道展にも出品していく予定です。実習費として3,000円程度必要になります。</p>			

実用書道	2単位	選 択	
<p>実用書道では日常生活に役立つことを目的として毛筆と硬筆の両方を学びます。毛筆では細筆を使い自分の名前やはがき・封書の宛名、またはがきや手紙の書き方など実用の書を中心に学んでいきます。さらに”小作品”を制作して、文化祭などに展示発表します。また、硬筆では毛筆で扱ったことに加え履歴書や出願書の書き方などを学び、一生使っていく文字を正しく、美しく書く技術を身につけていきます。実習費として2,500円程度必要になります。</p>			